

G1宝塚記念2023 全頭診断書

16頭立て以上の多頭数では、消耗戦になりやすく、近走で逃げていた馬が1頭もいなかった2015年以外の4回は消耗戦3回、持続戦1回というラップパターンになっていました。

今年は17頭立てで、逃げ馬ユニコーンライオンと番手から逃げ馬にプレッシャーをかける競馬をするドゥラエレデがおり、前走DSCで逃げて楽勝したイクイノックスの出方もペースに大きな影響を与えそう。

いずれにしても、スローペースにはなりそうもなく、馬場の軽さを考慮して、ミドル～ハイペースの**持続戦**が濃厚だと想定しています。

血統傾向として、最も際立っているのは「ディープの牡馬が走れない」という事。過去10年で20頭が出走して、馬券絡みはダノンバラードの2着のみ。

一方で、牝馬の場合はディープインパクト産駒が超好走血統です。
(今年は該当馬は出ていません・・・)

その他の血統傾向は・・・

- ・父か母父がキングマンボ系などの「欧州型ミスプロ系」
- ・欧州型ナスルーラ系(グレイソヴリン系・ブラッシンググループ系・ネヴァーヴェンド系)
- ・母父にヴァイスリージェント系か欧州型ミスプロ系を持つ**牝馬**
- ・牡馬は欧州指向の強い血統構成を持つ馬

距離実績としては2000m以下の重賞好走実績が重要で、特に馬場が軽い年は必須条件と考えても差し支えありません。

その他、下記のような実績を持つ馬に注目です。

↓↓↓

- ・海外の2000m以上のG1に好走実績を持つ馬
- ・非根幹距離重賞に好走実績を持つ馬
- ・阪神内回りコース重賞に好走実績がある馬

牝馬は軽視禁物！！

過去10年における牝馬の実績は【4-1-6-15/26】

【4・1・6・15/26】で複勝率は42.3%

単回率140%/複回率186%

以上の好走傾向を念頭に、
今年の出走馬を評価して参ります。

宝塚記念2023「全頭診断書」

・アスクビクターモア(牡4歳)

父:ディーピンパクト

父母父:アルザオ(欧リファール系)

母父:レインボウクエスト(欧ブラッシンググループ系)

祖母父:ナイトシフト(欧ND系)

曾祖母父:欧ロベルト

英国牝系で半姉ケマーは英仏のマイルG1を優勝。

母父レインボウクエストは凱旋門賞馬。

宝塚記念の鬼門血統ディーブ産駒の牡馬。

母系にレインボウクエストを持つディーブ牡4歳としては
2016年3人気16着のアンビシャスがおります。

近2走の凡走は、ウエット路面が原因で、ドライな路面ならこの馬本来の走りに戻る可能性は十分にあると考えます。

また、2000m重賞に勝鞍があり、2200m重賞でも連対実績、そして阪神内回りコース開催の菊花賞優勝と、キャリア的には十分に狙いが立つ実績馬なのですが・・・

前走で2桁着順に負けたディーピンパクト産駒の牡馬が、次走のG1で巻き返す確率は9.1%と非常に低い事からも積極的に狙いたい存在ではありません。

血統評価:D

キャリア評価:B

距離ローテ:短縮C

ラップ適性:A

相対指数:B

総合評価:C

・イクイノックス(牡4歳)

父:キタサンブラック(Tサンデー系)

父母父:欧プリンスリーギフト系

母父:キングヘイロー(欧リファール系)

祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

父は当レースの3着馬。

本馬は母系にトニービンを持っており、母父キングヘイローは凱旋門賞馬の産駒で、父よりもかなり欧州指向が強い配合馬。

内回りの非根幹距離G1有馬記念と海外のG1ドバイシーマCを勝っており、キャリアとしても十分に合格点です。

消耗戦の天皇賞秋と、持続戦の有馬記念で優勝。

LAP的に苦手があるタイプでもなさそうです。

距離短縮ローテでもG1を2勝しており、
海外帰りの初戦と言う以外に大きな不安材料は
見当たりませんので、人気通りに走る公算が高そうです。

血統評価：A

キャリア評価：B

距離ローテ：短縮A

ラップ適性：A

相対指数：S

総合評価：A

・カラテ(牡7歳)

父：トウザグローリー(欧キングマンボ系)

父母父：サンデーサイレンス

母父：フレンチデピュティ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父：欧ネヴァーベンド系

祖母レイサッシュは宝塚記念で2度馬券になったステイゴールドの半妹。

近親には、2015年に単勝100倍で3着に激走したショウナンパンドラ。

牝系ファミリーは、小回りの中距離に強い一族。

長くマイル路線に使われてきた馬で、マイル重賞にも勝ち星があり
スピード能力は決して低くはないと思われます。

非根幹距離ではG2中山記念に連対実績があります。

デビューからしばらくは中距離路線で結果が出せず
マイル路線に転向しましたが、晩成の家系であり
加齢とともに牝系ファミリーの本領である中距離に
適性がシフトしてきているようです。

前走の鳴尾記念は、外有利馬場で終始内を回り、
直線では前が詰まってムチを入れる事も出来ず終い。

短縮好走後の同距離ローテというローテ不利もあり、
阪神内回りに適性が無かったと判断するのは早計でしょう。

血統評価:注
キャリア評価:C
距離ローテ:延長C
ラップ適性:B
相対指数:C
総合評価:要警戒

・ジェラルディーナ(牝5歳)

父:モーリス(欧ロベルト系)

父母父:欧サドラーズ系

母父:ディーピンパクト

祖母父:欧ダンチヒ系

母はJC、有馬記念、DSCほかG1全7勝のジェンティルドナ。

近親にダービー馬ロジャーバローズ。

今年はディーピンパクト産駒の牝馬はおりませんが、
本馬は母父ディーピンパクトの牝馬で、当コースG1ウイナーです。
2000mの鳴尾記念にも連対実績があり、有馬記念でも3着に好走。

前走の香港G1はイレ込みが激しかったうえに極端なスローペース。
2走前的大阪杯は前有利馬場で後方からの競馬と休み明けが敗因。

脚質的に展開に左右されるところがありますが、
今回は鞍上がユタカさんに乗り替りで、大阪杯のような窮屈な
競馬になる事はないかもしれません。

血統評価:B
キャリア評価:A
距離ローテ:延長B
ラップ適性:A
相対指数:C

総合評価:B+

・ジオグリフ(牡4歳)

父:ドレフォン(米ストームバード系)

父母父:米ヴァイスリージェント系

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

祖母父:サンデーサイレンス

父に米国型ノーザンダンサー系を持つ牡馬の
芝での旬は短く、大半がダートか短距離に適性が変化します。

2走前のサウジC(ダ1800)で僅差4着に好走したあたりに
その裏付けがみて取れます。

血統評価:D

キャリア評価:C

距離ローテ:延長C

ラップ適性:C

相対指数:D

総合評価:D

・ジャスティンパレス(牡4歳)

父:ディーピンパクト

母父:ロイヤルアンセム(欧ヌレイエフ系)

祖母父:レッドランサム(欧ロベルト系)

母父:ロイヤルアンセムは英国中距離G1馬

半兄パレスマリスは米国G1ベルモントS(ダ2400)勝ち馬。

半兄アイアンバローズはステイヤーズS・阪神大賞典2着馬。

スタミナ寄りのイメージが強い母系で、成長が遅く
春のクラシック路線には間に合わず、完成は3歳秋以降。
その完成形が「瞬発力型ステイヤー」となったイメージです。

ディープの牡馬という事も大きな不安材料ですが、
今の本馬には2200mは短く、持続戦や消耗戦も
恐らく合わないのではないかと感じています。

血統評価:D

キャリア評価:C

距離ローテ:短縮C

ラップ適性:D

相対指数:A

総合評価:D

・スリーセブンシーズ(牝5歳)

父:ドリームジャーニー(Lサンデー系)

父母父:メジロマックイーン(欧トウルビヨン系)

母父:クロフネ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:シアトルスルー(米ポールドルーラー系)

父はステイゴールド産駒で宝塚記念馬。

ちなみにステイゴールドは、オルフェーヴルを含め、
ナカヤマフェスタ、ゴールドシップと4頭の宝塚記念馬を輩出。

また、母父にヴァイスリージェント系を持つ牝馬は
このレースで良く馬券に絡む**特注血統**になります。

本馬は中山内回りコースに高い適性を示しておりますが、
輸送が合わないのか、阪神では凡走を繰り返しておりました。

しかし、今回は栗東滞在で長距離輸送が無く、
急坂のある内回りコースで距離延長なら警戒は必要。

血統評価:注

キャリア評価:C

距離ローテ:延長B

ラップ適性:C

相対指数:C

総合評価:警戒

・ダノンザキッド(牡5歳)

父:ジャスタウェイ(Pサンデー系)

父母父:米ニアークティク系

母父:ダンシリ(欧ダンチヒ系)

祖母父:ダイシス(欧ネイティヴダンサー系)

父自身も産駒も、距離は2000m以下がベスト。

母父ダンシリはマイラーでしたが、こちらは欧州の2000m以上G1ホースを複数出しております。

祖母父ダイシスはスプリンターでしたが、英国・愛国のクラシックホースを複数出しており日本でも鳴尾記念(当時は阪神2500内)勝ち馬を出しました。

本馬自身2000mを超える距離はこれが初めてですが、加齢とともに持続力型の体型に変化してきており、持続戦となった大阪杯でも、切れ負けしての3着で、手応えとしては距離の限界を感じさせるものではありませんでした。今なら1F延長に耐えられるのではないかと見ています。

また、香港カップ好走馬は宝塚記念の要注意馬であり、血統イメージを払拭するような結果に期待しています。

血統評価:D

キャリア評価:特注

距離ローテ:延長B

ラップ適性:B

相対指数:C

総合評価:★

・ディーブポンド(牡6歳)

父:キズナ(ディーブ系)

父母父:米ストームキャット

母父:キングヘイロー(欧リファール系)

祖母父:カコイーシーズ(米レイズアネイティヴ系)

この馬の適性は、母父の父ダンシングブレーヴ譲りで、母父にダンシングブレーヴを持つ馬の代表格であるメイショウサムソンとスイープトウショウは、どちらも宝塚記念の連対実績馬でした。

また、同じ条件のレースで複数回好走を繰り返すリピーター資質も、上記2頭に共通しているポイントです。

ディーブポンドも3年連続で天皇賞春2着のリピーター。

昨年の宝塚記念は上り1位から3位をマークした馬が3着以内を独占する展開で、切れ味に欠けるこの馬には厳しいレースとなりました。

それでも、3着デアリングタクトとは同タイムで、画像を見る限りではディーブポンドが残ったように見える際どい決着でした。

ただ、距離短縮ローテは合わない可能性があり、力を発揮しきれない可能性も考えられます。

しかし、無冠のG1好走実績馬が初戴冠を飾る傾向がある宝塚記念ですから、イクイノックス相手に大金星を挙げるかも知れません。

血統評価:B

キャリア評価:C

距離ローテ:短縮D

ラップ適性:B

相対指数:C

総合評価:C+

・ドゥラエレーデ(牡3歳)

父:ドゥラメンテ(欧キングマンボ系)

父母父:サンデーサイレンス

母父:オルフェーヴル(ステイゴールド系)

祖母父:オーペン(欧ダンチヒ系)

アルゼンチン牝系で、祖母はアルゼンチンの芝2000G1馬であり、

ダートのG1でも複数回連対していた芝ダート兼用馬でした。

母の半兄に3歳で有馬記念を制したサトノダイヤモンド。

父は宝塚記念2着馬で、母父オルフェーヴルは宝塚記念馬。

早熟の家系で、本馬は2歳G1ホースです。

UAEダービー(ダ1900)でも2着に好走しており、

祖母マルペンサの適性を受け継いだイメージ。

前走のダービーは結構期待していましたが

スタートで土下座して無人走行・・・

3歳のこの時期に、古馬の一線級を相手に2200mを

戦うには、スタミナが未完成である可能性が高いですが、

小回りコースに適性が高いのは間違いなさそうで、

展開に恵まれれば軽量を利しての前残りも。

血統評価:B

キャリア評価:C

距離ローテ:実質延長B

ラップ適性:B

相対指数:E

総合評価:注

・ブレイクアップ(牡5歳)

父:ノヴェリスト(独ブランドフォード系)

父母父:欧ニジンスキー系

母父:クロフネ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:キングズベスト(欧キングマンボ系)

ノヴェリストはドイツのダービー血統で、
外回りコースに適性が高い産駒が出やすい種牡馬です。

宝塚記念に出走する牡馬としては、
もう少し持久力強化の血が欲しいところ。

能力的には掲示板に載るレベルだとは思いますが、
持続戦や消耗戦に対する適性に欠けており、
スローペースからの瞬発戦が望ましいタイプでしょう。

今年のメンバーには、スローの上り勝負を避けたい
タイプの先行馬が複数混じっているので、
苦戦を強いられるのではないかと考えております。

血統評価:C

キャリア評価:C

距離ローテ:短縮C

ラップ適性:D

相対指数:D

総合評価:D

・プラダリア(牡4歳)

父:ディープインパクト

母父:クロフネ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:米フォーティナイナー

いわゆる「ダービー配合」のディープ牡馬で、
その配合の良さも、一線級相手には通用していない印象。

2000m以下の重賞実績もなく、
ここでは基礎的なスピード能力が足りていないと思います。

加えて、鬼門血統のディープ牡馬となると
評価のしようがありません。

評価対象外とします。

・ボッケリーニ(牡7歳)

父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

母父:ダンスインザダーク(Tサンデー系)

祖母父:トニービン(欧グレイソヴリン系)

曾祖母:リアルシャダイ(欧ロベルト系)×Nテスト

全兄ラブリーデイは宝塚記念馬。

好走血統のキンカメとトニービンを持ち、
母父に入ったダンスインザダークは、根幹距離から
非根幹距離への距離延長ローテに対する適性を引き上げます。

今回のローテは、兄ラブリーデイが優勝した時と同じ
鳴尾記念優勝からの距離延長ローテでの臨戦になります。

余談ですが、マイ注目馬「距離延長＋非根幹距離」の登録馬です。

持ち時計を考えると、ひと雨欲しい所ですが、
馬場が速い今回開催の阪神で重賞を勝てたのは収穫でしょう。

血統評価:A

キャリア評価:B

距離ローテ:延長A

ラップ適性:B

相対指数:E

総合評価:B

・モズベッコ(牡7歳)

父:ディープリランテ(ディーブ系)

父母父:欧ネヴァーベンド系

母父:米ストームバード系

祖母父:米ヘイロー系

雨で上り時計が掛かる阪神内回りでは
コントレイルを負かすほどの強さを見せますが、
時計が速い良馬場のG1では少し足りないタイプ。

当日、雨で馬場が悪化するようなら押さえないと思います。

・ユニコーンライオン(牡7歳)

父:ノーネイネヴァー(欧ストームバード系)

父母父:米ミスプロ系

母父:ハイシャパラル(欧サドラーズ系)

祖母父:欧ノーザンダンサー系

21年の2着馬です。

父は仏国のスプリントG1馬で、産駒はマイラーが主流です。

母父ハイシャパラルは英国・愛国ダービーを連勝し、
米国のBCターフ連覇を含めG1を6勝、凱旋門賞2年連続3着。

本馬の距離適性は、母父ハイシャパラルの影響が強いです。

連対した重賞は全て内回り(小回り)コースで、
ウエット馬場には向いていない印象です。

前走の豪州G1は現地発表では不良馬場でしたが、
後続に交わされても諦めずに頑張って5着に健闘。
良馬場ならば、着順はもっと上だったのではないかと思います。

叩いて上向く血統なので、休み明けはイマイチですが、このメンバー構成なら自分でペースを作れそうなので、仕上がり次第では前で踏ん張る可能性もありそうです。

血統評価:C

キャリア評価:B

距離ローテ:延長B

ラップ適性:B

相対指数:E

総合評価:C

・ライラック(牝4歳)

父:オルフェーヴル(ステイゴールド系)

父母父:メジロマックイーン(欧トウルビヨン系)

母父:キングカメハメハ(欧キングマンボ系)

祖母父:フジキセキ(Pサンデー系)

ノーザンテーストの5×4×4クロスを保持

牝系をさかのぼれば、ダイワメジャーやダイワスカーレットを出したスカーレットインク牝系に連なります。

母父にキングカメハメハを持つ牝馬は

宝塚記念の好走血統に該当し、同コースで行われた

昨年のG1エリザベス女王杯で12人気2着に激走しておりました。

そのエリ女が重い馬場だったので、馬場の恩恵による

マグレ激走だと思われるかも知れませんが・・・

持続力を問われるタフな競馬なら、良馬場でもスターズオンアースを負かす競馬が出来る事を忘れてはなりません。

これらの事は、ノーザンテーストの多重クロスと、

母系に入って持続力を強化するフジキセキの影響が大きいのでしょうか。

また、鞍上のミルコ殿は、過去5年間に当コースで19回騎乗し、

13回馬券に絡む複勝率68.4%/複回率164%のコース名人です。

血統評価:B

キャリア評価:B

距離ローテ:短縮A

ラップ適性:B

相対指数:B

総合評価:B+

・ヴェラアズール(牡6歳)

父:エイシンフラッシュ(欧キングマンボ系)

父母父:独ハンプトン系

母父:クロフネ(米ヴァイスリージェント系)

祖母父:サンデーサイレンス

父のエイシンフラッシュは、ドイツ牝系出身のダービー馬。

本馬は父の影響が強く出たタイプだと思われ、
2400mのスローペース瞬発戦が本領です。

つまり、宝塚記念とは真逆の方向の適性を持つ馬という事。

また、宝塚記念で好走するには、
牡馬としては欧州色が薄すぎるイメージがあります。

血統評価:D

キャリア評価:D

距離ローテ:延長B

ラップ適性:D

相対指数:B

総合評価:D